

おおえ町 議会だより



2019.7.25

No. 152

大海牛ぷくちゃん

●発行／大江町議会

〒990-1101 山形県西村山郡大江町大字左沢882-1

●編集／議会広報常任委員会

TEL(0237)62-2228 FAX(0237)62-2155

補正予算 (第1号)

自主防災組織に支援 額50億6930万円に

予算質疑 ここが聞きたい!

桜満開のテルメ柏陵

補正の ポイント

◆コミュニティ助成

13区「奴」の備品他
250万円

◆自主防災

組織の育成・活動支援に
147万円



TGGで学んだ中学生もいつかは海外へ

※注・TGG (TOKYO GLOBAL GATEWAY) とは東京都が開設した英語を楽しく学ぶ施設です。大江中では、今年度、2年生を対象に研修を行いました。

若者よ、海外で多く
を学べ!

伊藤議員 若者海外体験促進事業とあるが、派遣人員はどれくらい予定しているのか、また、一人にいくら補助するのか。

政策推進課長 県との連携事業で、若者が海外で広く学べるよう、パスポート申請費用の一部5000円を補助するものです。さらに、町では大学生を対象に、町費も含めて、5年間有効のパスポート申請費用1万1000円全額を補助します。



協力隊の今後の活躍に期待

地域おこし協力隊の 今後の活躍に期待

宇津江議員 地域おこし協力隊定住支援補助金とあるが、どのような内容か。

政策推進課長 地域おこし協力隊への国の支援の一つで、任期終了後1年以内に、町で起業した場合に補助するものです。今回は、七軒地区の一人の方が対象です。

令和元年度 一般会計

防災・減災に向けて、 930万円を追加し、総

新緑のデルメ柏陵

結城議員 伏熊揚水機更新工事費とあるが、故障での更新なのか、費用はいくらかかるのか。

農林課長 伏熊揚水場のポンプについては、設置から10数年経っていて汲み上げ性能が落ちており、当初予算で更新を予定していますが、指導により、流用調整弁を新たに取付けなければならなくなったため増額するものです。

伏熊地区の 稲作の水を守れ



伏熊地区の約45haの水田



使われていない処理場内部

食鳥処理場は 早く再開して

毛利議員 畜産業費に人夫賃など、35万円の増があり、食鳥処理場に関するものと思うが、1か月分の経費になるのか。

政策推進課長 5月末をもって指定管理者の指定の取り消しとなったことから、新しい管理者が決まるまで町が管理するための約5か月の必要経費を計上したものです。

地区の防災意識の 向上に

毛利議員 自主防災について、当初予算が決まって2か月での補正であり、どのように考えているのか。また、この事業は随時受け付けるのか。

総務課長 当初予算については年間予算を見積もって計上しています。が、今回の補正は、地域の防災意識の向上に向けての推進となるもので、新たに組織を立ち上げ、事業を実施したいとの要望があり予算化したものです。



これからは、区単独の防災倉庫も必要に

6月定例会提出議案及び審議結果

議案番号	件名と主な内容	議決結果		掲載頁
議第30号	大江町教育委員会教育長の任命について	同意	全員賛成	P5
議第31号	専決処分の承認を求めることについて（大江町税条例等の一部を改正する条例） 地方税法等の改正に伴う条例の改正	承認	全員賛成	—
議第32号	専決処分の承認を求めることについて（大江町都市計画税条例の一部を改正する条例） 地方税法等の改正に伴う条例の改正	承認	全員賛成	—
議第33号	専決処分の承認を求めることについて（大江町国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 地方税法等の改正に伴う条例の改正	承認	全員賛成	—
議第34号	専決処分の承認を求めることについて（大江町過疎地域固定資産税課税免除条例の一部を改正する条例） 省令の改正に伴う条例の改正	承認	全員賛成	—
議第35号	専決処分の承認を求めることについて（大江町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例） 国の基準の改正に伴う条例の改正	承認	全員賛成	—
議第36号	専決処分の承認を求めることについて（大江町介護保険条例の一部を改正する条例） 消費税法等の改正に伴う条例の改正	承認	全員賛成	—
議第37号	平成31年度下モ原地区住宅団地整備工事請負契約の締結について 契約金額／1億4500万円 契約の相手方／林建設株式会社	可決	全員賛成	P5
議第38号	大江町立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 消費税法等の改正に伴う条例の改正	可決	全員賛成	—
議第39号	大江町立公民館等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 消費税法等の改正に伴う条例の改正	可決	全員賛成	—
議第40号	大江町社会体育施設の設置、管理及び使用に関する条例の一部を改正する条例の制定について 消費税法等の改正に伴う条例の改正	可決	全員賛成	—
議第41号	大江町立歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 消費税法等の改正に伴う条例の改正	可決	全員賛成	—
議第42号	大江町健康増進センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 消費税法等の改正に伴う条例の改正	可決	全員賛成	—
議第43号	大江町町民ふれあい会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 消費税法等の改正に伴う条例の改正	可決	全員賛成	—
議第44号	大江町交流ステーションの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 消費税法等の改正に伴う条例の改正	可決	全員賛成	—
議第45号	大江町小倉交流館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 消費税法等の改正に伴う条例の改正	可決	全員賛成	—
議第46号	大江町都市公園条例の一部を改正する条例の制定について 消費税法等の改正に伴う条例の改正	可決	全員賛成	P5
議第47号	大江町水道給水条例の一部を改正する条例の制定について 消費税法等の改正に伴う条例の改正	可決	全員賛成	—
議第48号	大江町下水道条例の一部を改正する条例の制定について 消費税法等の改正に伴う条例の改正	可決	全員賛成	—
議第49号	令和元年度大江町一般会計補正予算（第1号）	可決	全員賛成	P2-3
発議第2号	国会等に対して「森友学園」「加計学園」疑惑に関する真相究明と国民への説明責任を果たすよう求める意見書の提出について	採択	全員賛成	P5

報告についての
質疑

大江町朝日連峰古寺案内センター新築工事請負契約の一部変更について
(231万8800円の追加)

毛利議員 契約変更の理由として、浅層地下水の掘削によるとの説明があったが、当初の沢水利用からどうして変わったのか。また、掘削場所と掘削の深さは。
政策推進課長 沢水を引いての利用は、水量など不確定要素が多く、周辺の地下水の水脈の可能地を模索したところ、西側の山際に確認しましたので変更するものです。なお、約5メートル程度掘削する計画です。

議第37号

平成31年度下モ原地区住宅団地整備工事請負契約の締結

新しい団地の分譲予約受付を9月から開始!

宇津江議員 下モ原地区住宅団地の名称を募集しているが、いつ頃に名称が決まるのか。

政策推進課長 現在、取りまとめている最中で、7月中旬に決定となりま

議第46号

大江町都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

関野議員 町内にある該当する都市公園は。建設水道課長 条例により設置している公園は9か所です。

今回の条例改正の行商・露店についてはすべての公園が該当となりますが、競技会・レクリエーション等の独占使用については、森ノ宮公園が該当します。

今回の条例改正の行商・露店についてはすべての公園が該当となりますが、競技会・レクリエーション等の独占使用については、森ノ宮公園が該当します。



にぎやかなレクリエーション大会が行われる森ノ宮公園

請 願

大江町教育委員会
教育長の任命に同意

犬飼 藤男氏 (1区)

平成28年8月から令和元年7月までの3年間の任期満了後、引き続き3年間、犬飼藤男氏を教育長に再任することに同意しました。



国会等に対して「森友学園」「加計学園」疑惑に関する真相究明と国民への説明責任を果たすよう求める意見書の提出について

疑惑に関する真相究明と国民に対する説明責任を果たすよう求める「意見書」を国会に提出することを決定しました。

伏熊女性の会

衆議院議長

代表 鈴木恵理子

大島 理森 殿

採決の結果、

参議院議長

全員賛成で採択

伊達 忠一 殿

採決の結果、

内閣総理大臣

全会賛成で採択

安倍 晋三 殿

「国会等に対して「森友学園」「加計学園」

内閣官房長官

友学園」

菅 義偉 殿

一般質問



町政のそとが聞きたい!

1 ^{つちだ れいいち} 土田 勵一 議員 …7ページ

通称「日本一公園」を積極的に

2 ^{せきの こういち} 関野 幸一 議員 …8ページ

- (1) 古寺案内センターの今後の運営は
- (2) ふれあい広場の水の出ていない噴水は
- (3) これで終わりじゃないよね

3 ^{うつえ まさと} 宇津江 雅人 議員 …9ページ

最上川舟運文化会館（仮称）の建設を

4 ^{あじき こうじ} 安食 幸治 議員 …10ページ

市街地の有害鳥獣対策は

5 ^{もうり としひろ} 毛利 登志浩 議員 …11ページ

大江町の観光産業の振興策は

6 ^{きくち かつひで} 菊地 勝秀 議員 …12ページ

- (1) 集落維持は大江町持続です
- (2) 幼児教育の質の向上対策は

一般質問とは

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質すこと、あるいは報告や説明を求めることをいいます。この一般質問により、執行機関の政治姿勢を明らかにするとともに、政治責任を明確にさせます。「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。内容を要約して登壇順（質問順）にお知らせします。（本会議場での持ち時間は1人60分）



生田 勳一 議員

通称「日本一公園」を積極的に

町長／俗称が一般的になれば使用

質問

日本一公園から「絶景」を撮った新たなポスターが、平成30年末に完成した。このポスターは、上部には柔らかな青空、中間には絶景、下部には観光客。更に、空には控えめに白で「絶景。」と「左沢楯山城史跡公園」、そして小さ目に「通称・日本一公園」と縦書きで書かれている。特に「通称・日本一公園」の文字が小さ目に柔らかな色で書かれていたのは、恐らく気を使っ

た。このポスターは、上部には柔らかな青空、中間には絶景、下部には観光客。更に、空には控えめに白で「絶景。」と「左沢楯山城史跡公園」、そして小さ目に「通称・日本一公園」と縦書きで書かれている。特に「通称・日本一公園」の文字が小さ目に柔らかな色で書かれていたのは、恐らく気を使っ

た。このポスターは、上部には柔らかな青空、中間には絶景、下部には観光客。更に、空には控えめに白で「絶景。」と「左沢楯山城史跡公園」、そして小さ目に「通称・日本一公園」と縦書きで書かれている。特に「通称・日本一公園」の文字が小さ目に柔らかな色で書かれていたのは、恐らく気を使っ

り、個人の感触として評判は上々と思っ

し、温泉側は絶景「日本一公園」を知らない



昔から立てられていた「日本一公園」の看板

ことだった。「日本一公園」は歴史的にも認められており、今後は積極的に表に出し宣伝すべきではないか。

町長

文化庁が使っている名称を前面に出すのか、それとも議員が言われる「日本一公園」を前面に出すのか、各方面の意見を聞いて、俗称がむしろ一般的ということになれば、いろいろな面で使っていくことになるのではないかと。 「日本一公園」は昔から町内外の方々に親しまれており、今後この名称と景観を大切に、後世に引き継いでいくべきと考えます。

古寺案内センターの今後の運営は

町長／指定管理者を公募して運営したい



関野 幸一 議員

質問 今年度にオープンを予定している古寺案内センターの指定管理者の選定、指定管理料の算定、施設の運営、隣接する駐車場の利用方法は。

町長 古寺案内センターに関しては、古寺地区だけではなく、大江町全体として様々なことを考えて整備するものです。宿泊事業については収益により運営できると思いますが、その他の部分や駐車場の管理、料金の徴収などは指定管理ということで運営してもらいます。駐車料金に関しては、協力金と



水を流してもらいたいふれあい広場の噴水

していただく予定です。

質問 ふれあい広場の水が出ていない噴水は

教育長 町の公園で、古くなくなったと思われるふれあい広場、蛍水公園の今後の改修予定は。

育・文化施設という観点からも多くの方が利用していますが、今年度は、館内の冷暖房の工事を予定しています。

噴水に関しては、平成14年にポンプが故障しましたが、部品の製造が終了したため新たに整備すると多額のお金がかかります。そのため、施設内のほか

の改修を含め年次計画で考えていきます。

町長 公園を作った時の交付金の関係で担当部署が異なっているが、公園の管理やメンテナンスについては一括でできると思うので、今後検討したい。

質問 これまで、食鳥処理と飼育をしていた業者が指定管理をやめたことよって、今年度の大江町産やまがた地鶏の生産が減ったが、今後の町の考え、これからの事業計画、展望は。

町長 これまで、約11年にわたり、いろんな方の思いや、企業については、異業種が参入できるのではとの観点からこれまでの会社にお願ひしてきまし

たが、個々の理由により現在のような状況になり残念に思います。今後、新たな管理者を公募して進めていきたい。

これからは、生産と販売を分けることによって、処理場も休むことなく稼働できると考えます。今後も、町として飼育、販売に対して前向きに進めていきたい。

私の一言
町の人、
知りたいと思うよ。





宇津江 雅人 議員

最上川舟運文化会館（仮称）の建設を

町長／西村山地方開発重要事業として要望

質問

先般、最上川舟運保存会総会の席上で、町長は元々くら保育園の活用として「資料館などは」と一言、述べられました。また、昨年5月のぶくらすカレッジ開講式の記念講演で吉村知事は、観光客誘致について最上川に関する資料を集めた施設の設置などを提言されました。さらに、観光物産協会が「最上川歴史文化館（仮称）」の建設を町に要望しています。今年の10月には、全国重要文化的景観協議会総会が当町で開催されます。選定された町として歴史資料館等が

欲しいものです。以上のことを鑑み、

県内で最初の最上川舟運文化会館（仮称）の建設について伺う。

町長

令和2年度、西村山地方開発重要事業の中で、最上川歴史文化館（仮称）の整備について、県に要望書を提出していきま

質問

また、全国重要文化的景観協議会総会の一部会場として、楯山公園に近い、元々くら保育園などで開けないものか検討していきたい。

資料の展示内容として、舟運文化

往來の歴史のほか、左沢楯山城及び隣接する町の大江一族との関係や、最上川舟唄が誕生した背景、「おしん」の年表、やまがた大海牛など広い分野にわたる音声付きスクリーンに放映してはどうか。

町長

舟運文化を論ずる場合は、七軒、

本郷地区の本町と、朝日町及び西川町を含めた民俗的な山の問題を語る必要があります。何を持ってきて、何を運んだのかといった裏付けの資料を吟味する必要があります。

舟運に関する資料は舟唄を含めて、底に沈んでいる部分を探し出すということ難しい背景があります。

また、左沢大火に遭遇したので、その後の遺物しかないことから難しい面があります。県では、大江町としてグランドデザインを持ってこいというのかわからないが、一応、強く要望していく中ですり合わせをしていきたい。楯山城は川港のお城であったという説もあります。

総合的に歴史を捉

え、県と相談しながら少しずつ歩んでいきたいと考えています。

質問

展示コーナーの一部に、大江町にゆかりの深い斎藤茂吉など文化人を紹介しては。

教育長

舟運文化や楯山城にしても非常に大きな物語があり、その中で、絵画的なものも含めて整理していく必要があります。

質問

毎年開催されている寒河江・西村山首長の座談会で、最上川舟運文化会館（仮称）の建設について1市4町が連携してできないものか、町長から提案してはどうか。

町長

話のテーマとして提供は可能ですが、様々な角度からどこをどうすべきか等、考えていきたい。



眼下に最上川を見渡せる舟運文化会館を

議員のつぶやき
舟運文化会館から
滔々と流れる最上川を
眺めることを
夢見る・・・

市街地の有害鳥獣対策は

町長／役場農林課に相談を



安食 幸治 議員



ハクビシン用の箱ワナ

質問

最近では、左沢市街地内でもハクビシン、ためき、カラス等による家庭菜園の作物の被害が増加傾向にある。

近年では、小学生の登校時にカモシカが出没するなど、今までに見られなかった動物が

いて、町としてどのように考えているのか伺う。実際の話として、ワナにかかった有害鳥獣を保健

農林課長

鳥獣の保護及び管理、並びに狩猟

市街地で見受けられるようになってきた。また、町内にある空き家を住み家として、ハクビシン等の有害鳥獣の繁殖が活性化し、個体数も増加傾向にある。事実、町内の民家の屋根裏にハクビシンが入りこんで、排泄物等の悪臭や騒音に悩まされている町民の方々も多いようである。

その対策で、ワナを購入して捕獲する町民の方もいるが、ワナにかかった有害鳥獣のその後の処理方法について、町

としてどのように考えているのか伺う。実際の話として、ワナにかかった有害鳥獣を保健

所に持っていったら引き受けられないと言われたそう、その後の処理に困ったそうだ。人里離れたところに放しても、その近辺でまた、農作物の被害が拡大する可能性がある。率直に、捕獲後の対応の考えを伺う。

町長

今まで考えられなかった有害動物が市街地に出没する事案が増加していることをご承知のとおりです。特にハクビシンは、比較的近年になってから見られるようになってきたものですが増え方が激しい。狩猟法との関係で、ワナの設置はワナの免許を持った方が傍にいないとできないことになっていきます。動物愛護法の観点もあり難しいものがあります。

質問

聞いた話では、越冬のため住宅に入ってきて、業者に頼んでも侵入経路ははっきりしない。道路で死んでいる場合は、県や町に言えば処分してもらえませんが、生きてい

るものは処理が大変である。しかし、捕獲して個体数を減らさなければならぬのではないのか。

町長

170万円の県の補助金もあり、県も町もあげて対応しています。窓口を農林課にして相談していただきたい。

質問

家の軒先のスズメバチの巣を駆除してもらいたい場合は、養蜂業者に頼めるが、ハクビシンについては、町に連絡をすれば対応する体制をとってもらいたい。

農林課長

ハクビシンは果樹、トウモロコシが大好物で、昨年は約500万円の被害が出ていますが、捕獲された実績がありません。町の鳥獣被害対策実施隊には30名程の狩猟免許を持つ方がいますので相談していただきたい。



毛利 登志浩 議員

大江町の観光産業の振興策は

町長／道の駅再編に向けた検討委員会を設置

質問

本町の観光産業の振興発展の方策は各方面で議論され、あらゆる可能性を求めて推進してきた。しかし、観光資源の多様性と貴重性、発信媒体の工夫や滞在型か体験型かを含めて、これといった推進方策を見いだせない状況にあると理解している。国では「明日の日本を支える観光ビジョン懇談会」を設置し、訪日外国人の目標人数を倍増させ、2020年に4千万人、2030年に6千万人とすることを定め、強力に観光推進国という新たな試みを進めている。県では

「美食・美酒ツーリズムの推進」、「インバウンド・国際交流の推進」を柱に観光立県の推進を図っている。

一方、本町の観光資源は、磐梯朝日国立公園、神通峡、大山自然公園、国選定重要文化的景観、泉質の異なる二つの温泉、国指定中世の山城楯山城など幅広い。町のキャッチフレーズも「フルーツとニットで伸び行く舟唄のまち大江」、「あじさい薫るいで湯の町」、「国選定重要文化的景観の町」と変わっている。時代背景の中、町のイメージも変わることは理解できるが、隣接の市町村と比し、一貫性に乏しい感が否めない。このような状況に鑑み、次の項目について町長の所見を問う。

○観光、文化（生業、スポーツ）との関わりが大きいと考えられ、機構改革のもとに新しい課の設置を行うべきではないか。

○季節的に観光資源の活かし方は変化すると思うが、本町の観光の目玉を何と捉え、アピールしていくようにしているのか。

○観光発信の重要な施設としての道の駅おおえの改修計画と、まちなか交流館の位置づけをどのように考えているのか。

○県観光文化スポーツ部及び広域連携の中で、インバウンド顧客の連携はあるのか。

町長

最上川の舟運によって、左沢は物流の中継地として賑わいを呈していたことはご案内のとおりです。また、左沢の賑わいとともにも本郷、七軒地区の生業も活気に溢れ、互いに切磋琢磨し活き活きと営むことで、良

きコミュニティを育んできたものと理解しています。目まぐるしく変遷する時代の中で、観光について考えるなら、歴史から学ぶことも大切でありますが、置かれている観光の要素・価値観の多様性を総合的に考える必要があります。

事務機構の見直しについては、町全体の事業や町民の考え方、財政面、今後の観光方策の在り方などを考慮し、今後検討させていただきます。また、ホンモノの観光施設、資源を結び付け、交流拡大につなげていきます。道の駅おおえの改修計画は、築20年を経過していることや大型車の進入難問題、敷地が狭いなど、今秋をめどに町、県、国交省、道の駅関係者などとともに検討委員



道の駅おおえ

会を立ち上げ、検討したいと考えています。まちなか交流館は、商店街の賑わいと町歩き体験などの拠点として活用を目指しています。

インバウンドの取り組みについては、関係団体や県などの動向を注視し、情報収集を含め、本町としてどのように対応できるかを検討していきます。

集落維持は大江町持続です

町長／私たちの素晴らしい町を感じていただきたい



菊地 勝秀 議員

質問

やまさあーべのオープン時、地区の区長さんが「頑丈で大きな木であっても、

周りがだめになればその木も枯れてしまします」とあいさつした。集落の維持は、つまり大江町を持続することである。私は、廃村集落に危機感を感じ、集落維持のための考えを伺う。

町長

我が町の廃村集落は、昭和30年代の木材自由化政策によって、木材産業とそれに関連する運搬業や金物屋さん等が成り立たなくなつたため、家族ぐるみで集落をあとにする人が多く出てき

たために生じました。国の政策次第で、小さな町は左右されやすいと思つていきます。今、ふるさと納税の返礼品制度があります。田舎に親が住んでいる場合は、その故郷に対して、返礼品は関係なく納税できる国策が必要だと思つていま

宮城教育大学で開設する日本ミツバチ講座で「ミツバチは娘を残して母が出て行く」とききました。そのようなことをしないと里山集落は持続できないのではないかと思つています。この素晴らしい私たちの町を皆さんに感じていただきたい。たとえ1人の集落であつても、行政として支援していかなければならぬと感じています。

質問

「居住誘導区域」を設定して推

進していく考えはあるか。また、空き家バンク等を活用して定住政策に力を入れ、田舎暮らしを奨励する移住政策も、人口減少の策として進めなければならぬ。ただ、移住者の家族が各集落に馴染めるかが問題である。

町長

「居住誘導区域」の設定、推進は、コンパクトシティという考えもありますが、慎重な議論が必要と考へていま



かつてはにぎやかだった集落

大江町に定住・移住していただける家族と地域の営みとの間で弊害が起こるという心配はしていません。大江町民はこれらの人々に対応できる力量があると思つていきます。

幼児教育の質の向上対策は

質問

10月1日から保育料無償化が実施される。

自己肯定感や精神的健康・協調性・忍耐力などの非認知的スキルが非常に大切であり、それは幼少期に発達するもので、その発達は家庭環境によって導かれると指摘されている。大江町独自の幼児教育を確立していただきたい。

教育長

幼児教育は、一般的には親の愛情をもとにしたきわめて私的な教育であると捉えられているようにで

す。核家族化が進む中で、子育てに悩む若い世代が増えている状況であり、福祉的なものになるのか教育的なものになるのか、あるいはそれを飛び越えたものにすべきなのか、いづれにしても子育てを今以上に充実していくことが必要だと思つて

町長

本町の保育については、保育理念に基づき豊かな人間性の育成に努めてきましたが、今後は、保育士が「非認知的能力」について深く理解し、保育園での遊びや生活に生かせるよう保護者の参加もいただくながら、国内研修などを充実したいと考えています。

自然の中で遊び、暮らすことで、強固なファミリーング、つまり非認知的能力が育まれると思ひます。

総務文教常任委員会

地域の皆様から支えられた

町の会社訪問

総務文教常任委員

です。

会協議会で、4月23日（火）、株式会社若月印刷の会社見学を実施し、事業内容等について伺いました。

大正13年に、現社長の祖父が創業し、今年で95周年を迎えたということ。昭和47年に活版印刷からオフセット印刷に、平成22年に東北第一号「HUV印刷機」、28年には「UVインク京セラヘッドLED速乾宛名印字機・自動バルク仕分」を導入し、積極的に設備投資を行ってきたとのこと。

印刷業界の最盛期は9兆円規模でしたが、現在は5兆円まで半減し、厳しい環境下に置かれています。

しかし、本社は関東事務所の2営業体制で売り上げの7割を県外から受注し、デザイン企画から印刷、発送まで行い、特に、DM部門では個人情報保護認証のPマークを2008年に取得し、年間400万通のDMを全国発送しているということ。

『寒河江市中郷に本拠地を構えています。』



株式会社 若月印刷

すが、活版での創業以来70年間左沢で仕事をさせていただき、地域の皆様に変お世話になりました。本社を大江町に置くのは当たり前のことだと思っております。』

若月社長はこのように話してくれました。

その後、企画制作室、DM関係部署、印刷業務等々社内を見学し、印刷関係の業務全般について知ることができました。

産業厚生常任委員会

現地調査

平成31年度に入っではじめての所管課との協議会を4月22日に開催し、町内外4か所の現地調査を行いました。

月が丘公民館

健康福祉課

小見、月が丘においては「いきいき百歳体操」を毎週月曜日に行っているとのこと。



町営住宅

建設水道課

藤田地区町営住宅は6月から工事が始まり、来年の4月から入居が予定されています。

6月21日に工事安全祈願祭が行われました。



新規就農者住宅

農林課

5棟目となる新規就

農住宅が十八才地区に完成しました。



千代寿虎屋酒造見学

大江町産の酒米「雪女神」を使用した大江錦（純米大吟醸）の製造について話を聞きました。



理想とする、住みたい町とは

議会と高校生との懇談会を視察

6月28日（金）宮城県柴田町で開催された「ワールドカフェ」を視察しました。

カフェを意識したりラックスできる空間の中で、少人数での話し合いを席替えしながら続ける新しい手法のワークショップです。

当日は、柴田町議会の全議員と地元の柴田高校生、役場若手職員が参加し、「20年後も住みたいまちを、戻ってきたいまちを考えると」というテーマで活発な意見が交わされました。

仕切り役は各テーブルの議員が担い、皆の意見を尊重し合って新しいアイデアや気づ

きを発見していきま

す。最後に、理想の20年後を実現するために自分が取り組まなければならぬ一歩は何かを、参加者全員が書き記していきます。

特筆すべきは、議会側がこれらの意見を集約し議論を重ね、重要かつ実現可能なものを政策提言として町当局に提出していることです。また、高校生だけでなく町民対象、各種団体との懇談会も毎年開催し継続しています。

このような取り組みが評価され、早稲田大学マニフェスト研究所の「議会改革度調査」で、東北6県の町村議会で2年連続1位となるなど先進的な議会です。

目新しい開催手法

や、話し合いをまとめ一定の方向性に導くスキル等、参考となるものが数多くありました。

降ひょう被害調査

6月5日の午後から、村山地方を中心に、激しい雷雨と降ひょうに見舞われまし

た。大江町議会として、翌日の6月6日午後、産業厚生常任委員会が本郷割田地区・原・所部・塩野平・会吉地区に被害調査に行きました。

大江町では、午後2時頃から5時頃までに直径5ミリ〜1センチほどの降

雨が激しく降

り、各地区で被害にありました。

特にリンゴ、ラ・フランス、スモモなどの果樹、野菜ではスイカ、枝豆等で、被害地区は橋上から原・所部・小見・富沢と広範囲に渡っています。

被害額は6月11日現在2億4千6百万円で、さらに被害が拡大すると見られています。

被害にあわれた方々に、町と農協が農業を配布しています。



議会広報は読まれているか

大江町議会 広報誌を点検してもらおう

第36回町議会広報研修会が、5月31日、山形市の国際交流プラザにおいて、県内24議会が参加して行われました。

講師には広報サポーターの芳野政明氏を迎え、前半は研修を行います。

「全議員の共通認識による広報誌」という位置付けを学びました。後半は、議会広報クリニクをしてもらいました。我が大江町議会だより（150号）では、議事公開の水準が高い点が評価されました。審議中の議案等に対する住民の意識調査

を行うような情報発信、議会や行政への意見・要望・提案の常設企画、読者の視線を誘導する見出しの工夫という点が、改善点としてあげられました。

現大江町議会広報常任委員会による発行は、9月改選のため、この152号で最終ですが、更なる進化を遂げる「おおい町議会だより」を今後ともよりよくお願いいたします。



産業厚生常任委員会行政調査

温泉熱の
利活用を学ぶ

青森県南津軽郡大鰐町
(6月19日)

大鰐温泉は、約800年前に源泉が発見された古い歴史をもつ温泉場である。昭和28年頃から各自がポンプで汲みあげるようになり、全体湯量に影響が出始めたため、昭和29年に温泉事業条例を制定し町が管理するようになった。その後、昭和44年に5か所の源泉を集中管理に改め現在に至っている。

メ柏陵健康温泉館や柳川温泉の泉質内容とほぼ同じである。温泉熱の利用として、中央公民館駐車場や湯の街通り線の融雪対策であるロードヒーティング、もやし栽培などを実施している。積雪や四季の気候等は、ほぼ、当町と同じように感じたが湯量は豊富であり、国の補助金等を活用し、上手に温泉熱を利用していることは大いに参考となった。

公共施設駐車場の融雪に温泉熱を利用するロードヒーティングは、国のグリーンニューデール基金事業を活用(約2300万円)し、湯の街通り線200m区間のロードヒーティングは、地方特定道路整備事業の補助金を活用(約1700万円)している。1mの積雪がある地域の消雪に効果を上げていることから、本町でも温泉施設の駐車場などの消雪方法として検討すべきと感じた。

大鰐町特産の温泉もやし栽培は約400年の歴史があり、江戸時代から行われていたようである。大豆の品種は門外不出の「こはちまめ」で、シャキシャキしてほのかに土の香りが感じられ、独特のうま味がある。過去に最大29戸の農家が栽培を行っていたが、現在は6戸にとどまっております。地域おこし協力隊で町に残った人と新規就農者が中心となつてい



表紙の写真説明

5月23日、農協青年部大江支部の指導のもと、中学1年生が田植えをしました。植えたのは「もう一杯ける(山形95号)」です。



田植え体験



うわー! ドロドロだー 気持ちイイー! 左沢小学校5年生全員によるコメ作り体験が5月28日、富沢地内にて行われました。町文化祭でコメを販売するそうです。



町内のサークル紹介

ようこそ カフェデニス (Cafe Denis) へ

英会話教室といってもそんなに硬いイメージはありません。名前の通りカフェです。まず、持参のマイカップに自分の好きなドリンクを作り、美味しくいただくことから始まります。

先生は デニス・ピーターソンさん 41歳
アメリカ・ニュージャージー州エジソン町出身
趣味は アイスホッケー（仙台のチーム所属）・ギター演奏
家族は 素敵な奥様と二人のお子さん、寒河江市在住

デニスさんは身長190cm、足の大きさは30cm、日本で靴を捜すのが難しいそうです。気は優しくて大男。

カフェの内容はクイズ方式で発音を試したり、同じ発音の種類の単語を探したり、英語の歌をうたったり、ドリンクしながら楽しんでいます。

また、アメリカ文化の話で盛り上がります。例えば「クリスマス」。アメリカでは静かに教会でお祈りをした後、家族で落ち着いて過ごすものと思っていました。しかしデニス先生の地域では意外にも教会には行かず、ショッピングや映画を見に行ったりするのが普通だとか。

また、今でもテレビも自動車もなく馬車で移動するなど近代文明を捨て、移民当時の生活様式を貫くAmishという人々の話など、興味のあることをいっぱい聴かせてもらっています。

先生も日本の文化に興味を持っており、お見舞いに対する快気や、お祝いに対するお返しのことなど合理的でないと指摘されたりしますが、反論したくとも、うまく伝えられずまだ未解決なのです。どなたか反論してみませんか！

入会をお待ちしています

この教室は英会話の基礎も教えてもらえますが、どちらかといえば「異文化コミュニケーションカフェ」の集まりのような気がします。

デニス先生は

No English No Japanese No Problem
LET'S COMMUNICATE!! と言っています。

開校日は毎年10月から3月まで全10回、いずれも月曜日でふれあい会館の第1、2研修室で19:00~20:00までです。どうぞ気軽においでください。



あん どう ひろし
安 藤 宏 (12区)

編集後記

いつも議会だよりを読んでいただきまして、ありがとうございます。

町民の皆様方から「読みやすくなった」「内容がわかりやすくなった」「頑張っているねー」など声をかけていただき、広報委員みなで喜んでおります。そして感謝しております。しかし、まだまだ勉強してもっと魅力ある紙面を作らなければなりません。プロのようにはいかない点もありますが、この議会だよりによって、町民の皆様方と大江町の課題や喜びを共にしたい、共通認識を持ちたいという思いで編集しています。

大江町の課題に対して、打つ手はあっても即効性のある政策はなかなかありません。予算や優先等、厳しい現実を考えると本当に苦しいもの

です。そんな中で60周年を迎えているこの機会に、町のルーツや自分のルーツを振り返って、「町は」「自分は」と、存在意義を考えてみませんか。

大江町は、みどりいっぱい、生きものいっぱい、やさしい、気持ちの通じる人いっぱい。

素晴らしい町ではありませんか。

私達も一つの区切りを迎えます。それぞれが精進して、どんなかたちにしろ、正面を向いて、眉を上げて歩んで行きましょう。

(記・菊地 勝秀)

【発行責任者】

◆ 議長 小野 祐一

【大江町議会広報常任委員会】

◆ 委員長 安食 幸治

◆ 副委員長 関野 幸一

◆ 委員 菊地 勝秀

◆ 委員 伊藤慎一郎